

受験番号

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(四十点)

この部分は、著作権の関係で  
掲載出来ません。



□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(四十点)

受験番号

この部分は、著作権の関係で  
掲載できません。



受験番号
------

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(二十点)

撰津の国ふきやといふ所に、<sup>※1</sup>下女ありけり。<sup>※2</sup>夏、ひる寝したりけるに、家の垂木に大きなるくちなは、<sup>※3</sup>まとひつきてありけり。この女のうへにて尾をば垂木に<sup>①</sup>まとひて、頭をさげて落ちかからんとしけるが、またひきかへしひきかへしする事、たびたびになりけり。女の夫、「ふしぎのやうかな」と思ひて、「<sup>②</sup>このやう見はてん」と思ひて、<sup>③</sup>追ひも退けずして、<sup>④</sup>かくれよりのぞきぬたり。かくたびたびけれども、<sup>⑤</sup>いかにも落ちかからざりければ、あやしくて女をよりに見れば、<sup>⑥</sup>かたびらのむねに大きなる針をさしたりけるが、<sup>⑦</sup>きらきらとして見えけり。「もしやこれに恐るるか」と思ひて、針をぬきて、またもとの所にて見るに、<sup>⑧</sup>やがてくちなは落ちかかりけり。その時、よりにうちはなちつ。すなはち女おどろきて語りけるは、「夢にもあらず、<sup>⑨</sup>うつつにもあらず、<sup>⑩</sup>うつくしき男のきて、われを懸想しつるを、なんぢきて、追ひ妨げつるなり」とぞいひける。

されば人の身には、<sup>⑪</sup>鉄のたぐひをば必ず持つべきなり。わづかなる<sup>⑫</sup>Xに<sup>⑬</sup>だに毒虫おそれをなすことかかり。<sup>⑭</sup>いはんや<sup>⑮</sup>Yにおいてをや。かならず武勇をたてずとも、まもりのために持つべき事なり。

〔古今著聞集〕

- ※1 撰津の国：現在の大阪府と兵庫県の一部を合わせた地域
- ※2 下女：身分の低い女
- ※3 垂木：棟から軒へ渡して、屋根板を支える木
- ※4 くちなは：蛇
- ※5 追ひも退けず：追い払わず
- ※6 かくれ：物かげ
- ※7 いかにも：どのようにしても
- ※8 かたびら：夏の服
- ※9 うつつ：現実
- ※10 懸想しつる：言い寄った
- ※11 鉄のたぐひ：鋭利な金属のようなもの
- ※12 だに：できえ
- ※13 かかり：この通りである
- ※14 いはんや：はなとおさらだ

問1 線部①「まとひ」④「のぞきぬ」⑨「いひ」の主語を次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 下女
  - イ くちなは
  - ウ 女の夫
  - エ 人
- |   |  |
|---|--|
| ① |  |
| ④ |  |
| ⑨ |  |

問2 線部②「ふしぎのやうかな」とあるが、何が不思議なのか。二十五字以内で答えなさい。

--

問3 線部③「このやう見はてん」⑥「やがてくちなは落ちかかりにけり」の意味として、最も適当なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

- |   |   |
|---|---|
| <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 事の成り行きを見極めよう</li> <li>イ 事の成り行きを見たくない</li> <li>ウ 事の成り行きを見てはいけない</li> <li>エ 事の成り行きをすべて見終えた</li> </ul> | <p>⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア いつかは蛇が落ちるだろう</li> <li>イ 全く蛇は落ちなかった</li> <li>ウ あと少しで蛇が落ちるところだった</li> <li>エ すぐに蛇は落ちてしまった</li> </ul> |
|---|---|
- |   |  |
|---|--|
| ③ |  |
| ⑥ |  |

問4 線部⑤「これ」の指示内容を十五字以内で答えなさい。

--

問5 線部⑦「すなはち女おどろきて」とは「すぐに女は目をさまして」という意味であるが、女が夢からさめた理由として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 女の夫が近寄って来たから。
  - イ 体に刺さっていた針を男が抜いたから。
  - ウ 女の夫が蛇を払いのけたから。
  - エ 男が言い寄ってきて恐ろしかったから。
- |  |
|--|
|  |
|--|

問6 線部⑧「うつくしき男」の正体は何か。本文中から抜き出しなさい。

--

問7 X・Yに当てはまる言葉の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- |   |     |      |   |     |      |
|---|-----|------|---|-----|------|
| ア | X 光 | Y 太陽 | イ | X 夢 | Y 現実 |
| ウ | X 声 | Y 騒音 | エ | X 針 | Y 太刀 |
- |  |
|--|
|  |
|--|

問8 本文から得られる教訓として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 戦いに臨む際、敵を倒すために刀剣を持ち歩くべきだ。
  - イ 強くなるためには刀を持ち、武道に励まなければならない。
  - ウ 護身のために、なんらかの金属の刃物を身に付けるのがよい。
  - エ 刃物は危険なので、取り扱いには細心の注意を払うべきだ。
- |  |
|--|
|  |
|--|